

令和4年度 政務活動報告書（1）

会派又は議員名 鈴木 岩夫

政務活動期間	令和4年8月24日～8月25日（2日間）
政務活動先	札幌市
政務活動参加者	鈴木 岩夫（1名）
政務活動項目	○講演テーマ「地域を豊かにするカーボンニュートラルの実現における市町村の役割」 ・自然豊かな北海道でカーボンニュートラルを目指す上での市町村の役割 ・地域に裨益する再生可能エネルギーと地域循環共生圏 ・脱炭素化と持続的発展を両立するニセコモデルの実現 ・地理情報の活用とバードストライク対策 ・地域の将来ビジョンとゾーニングマップづくり
政務活動項目に係る（目的・結果等の概要・所見）	別紙のとおり

政務活動研修報告書

当別町議会議員 鈴木 岩夫

2022年8月24日～25日北海道大学を会場に開催された北海道大学公共政策大学院主催「地方議員・公務員向けサマースクール」参加報告書

8月24日第1日目

一つ目は、環境省北海道地方環境事務所統括環境保全企画官 小高 大輔氏による「自然豊かな北海道でカーボンニュートラルを目指すうえでの市町村の役割」と題する講演。

二つ目は、秋田県にかほ市総合政策課 高橋 潔による「地域に裨益する再生可能エネルギーと地域循環共生圏」と題する講演。

三つめは、北海道ニセコ町企画環境課環境モデル都市推進係係長 島崎 貴義氏による「脱炭素化と持続的発展を両立するニセコモデルの実現」と題する講演を拝聴しました。

三つ目の講演は、同じ豪雪地帯における取り組みであり参考になる点が多くありました。特に、住宅建設におけるトリプルガラス活用の推進と省エネ効果には驚きをもって拝聴しました。

8月25日第2日目

一つ目は、北海道大学公共政策大学院教授 中尾 文子氏による「地理情報の活用とバードストライク対策」と題する講演

二つ目は、名古屋大学教授丸山康司氏による「地域の将来ビジョンとゾーニングマップづくり」と題する講演を拝聴しました。

続いて、1日目と二日目の講演を参考に、C班5人のグループメンバーでグループワークを行いました。

一つ目のテーマは、「アイスブレイキングとゾーニング協議試行の準備」です。

二つ目のテーマは、「ゾーニング協議の試行、再エネによる地域への裨益についてディスカッション」です。

それぞれ、事業者や住民、自治体職員に役割分担してディスカッションを行いました。私は、事業者役を引き受け参加しました。住民説明会を経験している私のリアルな事業者役は、住民の真剣さを引き出しディスカッションを大いに盛り上げました。

喫緊の課題である省エネ・再エネですが、実際に進める段階では、多くの課題があることを、改めて認識する良い機会となりました。いずれにしても、将来世代に責任を果たせる住民合意を大切にしたい取り組みが重要であることを強く感じた研修でした。